

「太平山麓九条の会」だより

事務局：須黒法律会計事務所 〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757

電話連絡先0282-22-7079(増田)

Eメール oohirasanroku9jc@yahoo.co.jp

HP：太平山麓九条の会で検索



153号
2020年3月27日発行

コロナ対策に追われていても、改憲に意欲を示す安倍首相 改憲阻止のため、緊急署名活動にご協力を！！

いま世界的に新型コロナの感染が拡大し、終息が見えない状況が続いています。日本でも安倍首相の突然の全校休校の要請以来、一気に不安・戸惑いが広がっています。マスコミは連日コロナ関連のニュースを流していますが、科学的な検証やきちんとした情報は知らされていないというのが日本の現状ではないでしょうか。

「緊急事態条項を憲法に書き込むべきだ」との発言や、改定しなくても運用できるとの指摘を無視して改定された「新型コロナウイルス対策の特別措置法」に注視する必要があると思います。「特別措置法」では「緊急事態宣言」が可能となります。この緊急事態措置は、国民の目と口を封じることができる非常に強い措置です。しかも、首相の独断で発令でき、事後に国会に報告するだけで済む危険な性格を持った法律です。私たちはそんな「緊急事態宣言」を発令させないよう、感染予防に取り組むことも大切になってくると思います。

そんな中、3月17日に開催された自民党の両院議員総会で、安倍首相は改憲への意欲を示し結束を呼び掛けました。このことについては、9条の会メールマガジンの編集後記で詳しく述べていますので、以下に転載します。ご参照ください。

「自民党は先に8日に予定されていて延期した党大会に代わる両院議員総会を17日に開催して、改憲をめざして国民的な機運の盛り上げに努めるとした運動方針を採択するという。運動方針原案は「みんなが輝く令和の国づくり」と題し、前文は「令和の御代を迎え、新たな時代が幕を開けた」で始まる。議案本文の冒頭に「憲法改正」を取り上げ、「新たな時代にふさわしい憲法へ」と題した章立てをして、「改正原案の国会発議に向けた環境を整えるべく力を尽くす」と党の決意を鮮明にした。運動方針案で憲法問題を独立した章として前面に打ち出したのは、第2次安倍政権発足後、初めてのことで、このところ自民党は改憲反対勢力との草の根での対決を主張している。この間、全国の市民運動は改憲発議反対などの署名運動に取り組み、草の根での「対話」運動に力を注いできた。いよいよ改憲問題は「草の根」での対決という正念場に来た。(T)」

私たちは今、コロナウイルスの感染拡大に不安を抱き、それ以外の政治の動きには鈍感になっています。改憲の動きにも注意を払うことがおそろかになりがちですが、こんな時こそ危険です。少しでも改憲の動きがあれば、敏感に行動していきましょう。ウイルス感染予防に最善の注意を払いながら、改憲阻止に力を尽くしましょう。まずは、緊急署名での意思表示にご協力ください。



お知らせ

◇スタンディング

4月9日(木)市役所前・4月19日(日)コープ前

*4月からは16時からになります

◇「無言館・檻の俳句館」への旅

5月22日(金)費用：8000円

(バス代・入館料・昼食代含む)

詳しくはチラシをごらんください。

◇スタッフ会議 4月9日(木)・4月23日(金)

5月7日(木)くらら 13時30分から

*9条を守ることに関心をお持ちの方の参加歓迎です。



フェイクニュースに
踊らされて (M・O記)

テレビをつけると「コロナ
のため、開店前の行列の様子を
レビで見えていた。数日後に娘から
「東京はトレットパーの
棚が空っぽだけだ。栃木は大丈夫
とラインが入り「えっ」と今度は
トレットパー?と、とぶよ
うにお店に行ったら何人も「カ
ット」にトレットパーが、や
っぱり本当なの?
後日フェイクニュースと知り
自分の行動が恥ずかしくなりま

★★第二回の憲法学習会

日本国憲法の素晴らしさを再確認しました。 個人の尊重を基礎にしている日本国憲法 国家が一番上にある自民党改憲草案



「檻の中のライオン」の紙芝居を利用しながらの憲法学習会。自民党改憲草案と憲法を対比した資料を参照しながら、話し合いを進めました。2回目ですが、もう一度復習しながらの学習でした。

「檻の中のライオン」で最初に出てくるのは「一人ひとり違っていい」つまり個人の尊重(13条)です。日本国憲法の基礎に個人の尊重・基本的人権の尊重があることをはっきりつかむことができました。自民党改憲草案では個人より国家を基礎にしています。明治憲法の考え方と同じです。

日本国憲法の素晴らしさは、人類の歴史から学んだ知恵や価値が反映されていることです。私たちはそのことをしっかり認識することが大切だと確認しました。個人は国家のためにあるのではない、個人は個人として尊重される。ここに視点を置くことで、人権侵害に敏感に反応できることになると思います。

次に紙芝居は政治について語りかけます。「違う個性を持った人々がみんな幸せに暮らしていくためには何が必要?」「まずルールを作らないといけません。さまざまな公共サービスも必要です。これらをだれかにやってもらわないといけませんね。」「百獣の王ライオンなら、強くて頼りになりそうです。私たちが人間らしく生活できるように、ライオンにお願いしている取り仕切ってもらいましょう。」「ライオンは強いうえに、わがままなことがあります。暴れ出したら手がつけられません。歴史を振り返ると、ライオンが私

たちに襲いかかることがよくあります。」「そんなことにならないように。私たちとライオンの間で、約束を交わしておきましょう。『ライオンには檻の中にいてもらう』という約束です。」と、為政者(政治をする人)をライオンに、檻を憲法に例えて話を進めています。

それをもとにいろいろ話し合いました。檻(憲法)を作るのも壊すのもライオンでなく、わたしたちなのに檻を守らなければならないライオンが檻からはみ出したり、壊そうとしている。自衛隊を調査研究という名目で中東に派遣していることをはじめとして現在の政治状況は、かなり檻からはみ出している状況ではないかという意見が多数をしめました。そんな状況に私たちが、NOの声を上げなければという思いを強く持ちました。

9条については、9条に自衛隊を書き込むという自民党(安倍首相)案についても話し合いました。安倍首相は「自衛隊を書き込んで変らない」と言っているが、それはまやかし。変わらないなら、憲法を変える必要はない。9条の背景にはパリ不戦条約など長年の人類の英知が詰まっているという見方が重要など、貴重な意見に頷きながら、現状や歴史から広く深い視野を持って、憲法をみていくことの大切さも学んだ学習会でした。

紙芝居のもとになっている「檻の中のライオン」は憲法の基本について私たちにわかりやすく教えてくれます。この本を手掛かりにしてもっと憲法を身近なものにしていかなければと思った学習会でした。(板橋 記)

井上ひさしの

「子どもに伝えよう日本国憲法」より

この国のかたち(前文) ①

国民がみな、ひとつところに集まって話し合うことはできないし

たとえできたとしても

やかましくてなにながなんだか

わからなくなるだろう

そこで私たち国民は

決められたやり方で「代わりの人」を

選ぶ

その人たちを国会に送って

どうすれば私たちの未来が

よりよいものになるか

それをよく話し合ってもらおうことに

した

私たちが、同じ願いをもつ

世界のほかの国々の人たちと

心をつくして話し合い

そして力を合わせるなら

かならず戦はいらなくなる

私たちはそのようにかたく

覚悟を決めたのだ

